

2021年12月期第2四半期決算補足説明資料

2021年8月13日

株式会社HANATOUR JAPAN



東証マザーズ コード 6561

サマリー

2021年12月期1Qは前年同期比71.8%減収
営業損失・経常損失11億円

バス事業
オリンピック需要（メディアクルー送迎）獲得

新型コロナウイルス感染症の影響による減収
インバウンド回復時期は依然として不透明

各事業マーケット回復を見据え営業力強化
インバウンド実証事業取り込みの準備

2021年12月期2Q 実績サマリー

新型コロナウイルス感染症の影響による低迷

単位：百万円（百万円未満切捨て）

	2020/12		2021/12 前期比			
	2Q	構成比	2Q	差額	増減率	構成比
売上高	696	100.0	196	△ 500	△ 71.8	100
営業利益	△ 1,126	△ 161.8	△ 1,163	△ 37	-	△ 593.4
経常利益	△ 1,488	△ 213.8	△ 1,100	387	-	△ 561.2
親会社株主に帰属する 当純利益	△ 1,654	△ 237.6	△ 1,108	545	-	△ 565.3
1株当たり当期純利益	△ 105.90		△ 54.97			

2021年12月期2Q 損益計算書

京都ホテル開業準備費含む経費 295百万円計上 為替リスク解消済

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2020/12		2021/12 前期比			
	2Q	構成比	2Q	増減	伸率	構成比
売上高	696	100.0	196	△ 500	△ 71.8	100.0
売上原価	419	60.1	139	△ 280	△ 66.8	71.0
売上総利益	276	39.8	56	△ 220	△ 79.7	29.0
販管費	1,403	201.5	1,220	△ 183	△ 13.0	622.2
うち人件費	462	66.5	290	△ 172	△ 37.2	148.1
営業利益	△ 1,126	△ 161.7	△ 1,163	△ 37	-	△ 593.4
経常利益	△ 1,488	△ 213.7	△ 1,100	388	-	△ 560.7
親会社株主に帰属 当期純利益	△ 1,654	△ 237.5	△ 1,108	546	-	△ 565.2

売上原価

- ・バス事業：△183百万円
- ・免税事業：△88百万円

販管費

- ・旅行事業：△113百万円
- ・バス事業：△72百万円
- ・免税事業：△106百万円
- ・ホテル事業：+165百万円
- ※京都ホテル（開業費含む）
+295百万円
- ・調整他：△56百万円

営業外損益

- ・前期 為替差損402百万円
- ・当期
雇調金等 助成金96百万円
雑収入 18百万円

特別損失

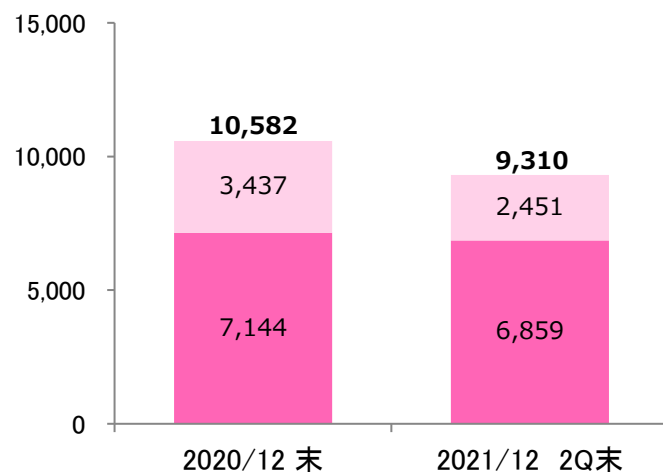
- ・前期
減損損失 59百万円
構造改善費用 55百万円

2021年12月期2Q セグメント別

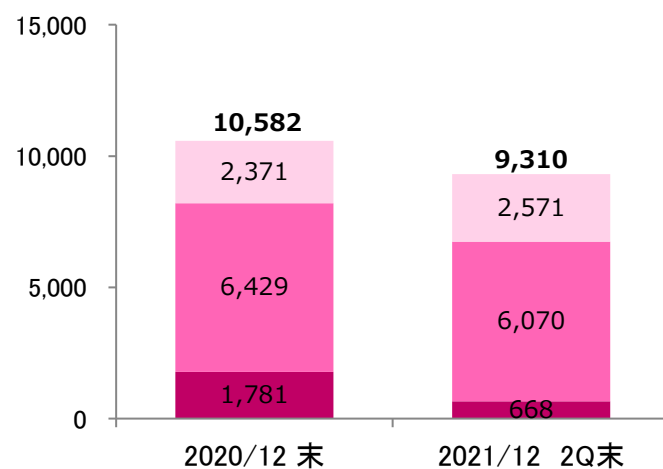
単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2020/12 2Q	2021/12 2Q	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高 セグメント利益 利益率	121 △ 167 -	17 △ 109 -	△ 103 57 -	△ 85.7 - -	8.7 9.4 -
バス事業	売上高 セグメント利益 利益率	187 △ 234 -	6 △ 158 -	△ 180 75 -	△ 96.3 - -	3.1 13.6 -
免税販売店事業	売上高 セグメント利益 利益率	96 △ 97 -	- - -	- - -	△ 100.0 - -	- - -
ホテル等施設運営事業	売上高 セグメント利益 利益率	347 △ 441 -	180 △ 767 -	△ 166 △ 326 -	△ 48.0 - -	91.8 66.0 -
その他	売上高 セグメント利益 利益率	33 4 12.1	11 △ 0 -	△ 22 △ 3 -	△ 67.0 - -	5.6 0.0 -
小計	売上高 セグメント利益 利益率	786 △ 936 -	216 △ 1,035 -	△ 570 △ 99 -	△ 72.5 - -	110.2 89.0 -
調整等	売上高 セグメント利益 利益率	△ 89 △ 190 -	△ 19 △ 128 -	69 62 -	- - -	△ 9.7 11.0 -
合計	売上高 営業利益 利益率	696 △ 1,126 -	196 △ 1,163 -	△ 500 △ 38 -	△ 71.8 - -	100.0 100.0 -

2021年12月期2Q 貸借対照表



■ 固定資産 ■ 流動資産 ■ 資産合計



■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債

単位：百万円（百万円未満切捨て）

流動資産	2,451	(△986)	
■ 現金及び預金	2,077	(△948)	売上減による減少
■ 売掛金	28	(△14)	
■ 前渡金	184	(△26)	回収による減少
固定資産	6,859	(△285)	
■ 有・無形固資	5,543	(△157)	
■ 敷金保証金	1,265	(△87)	ホテル賃料の敷金充当
流動負債	2,571	(+200)	
■ 一年内返済長借	471	(+306)	更新予定期日の到来
■ リース債務	211	(△48)	
固定負債	6,070	(△359)	
■ 長期借入金	1,119	(△245)	一年内返済長借へ振替
■ リース債務	4,858	(△75)	返済による減少
純資産	668	(△602)	
■ 資本金	1,022		
■ 資本剰余金	966		
■ 利益剰余金	△1,148	(△1,113)	当期利益△1,108

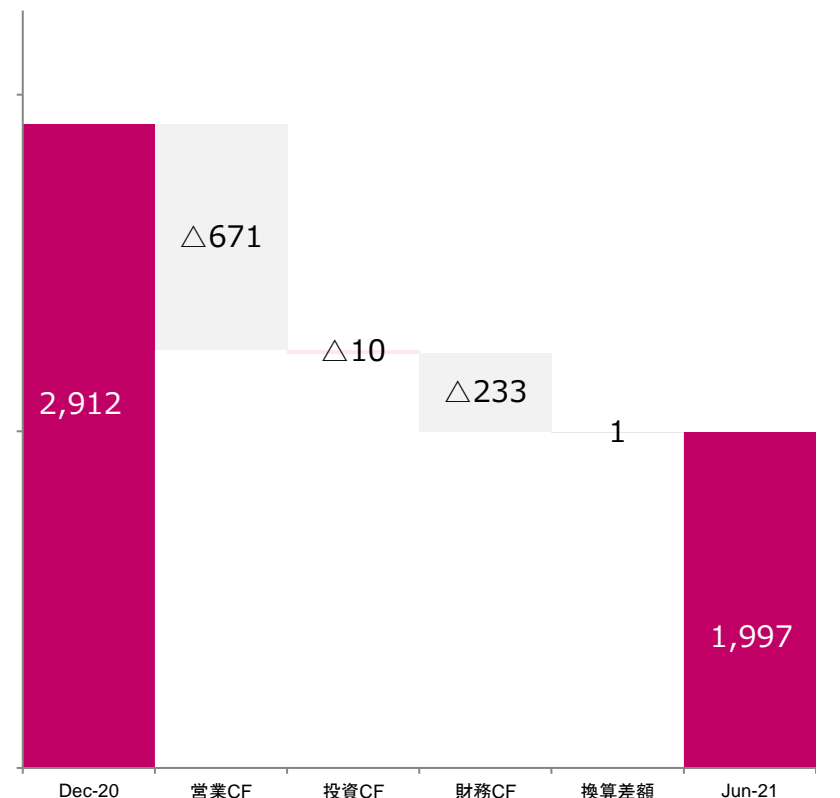
2021年12月期2Q CF計算書

大森、札幌大通 ホテルML料 減免・敷金充当など支払猶予

CF計算書

(百万円)

単位：百万円（百万円未満切捨て）

営業CF $\Delta 671$

■ 営業損失	$\Delta 1,163$ + 償却費225 = $\Delta 937$
■ 営業債権債務	70
■ 利息の支払	47

投資CF $\Delta 10$

■ 定期預金 払戻	34 解約
■ 敷金保証金	87 大森ホテル賃料充当
■ 固定資産取得	$\Delta 100$ 京都ホテル開業準備投資

財務CF $\Delta 233$

■ 短・長借入金	$\Delta 44$ 新規借入 120 返済 $\Delta 164$
■ 社債	$\Delta 50$ 償還
■ リース・割賦債務	$\Delta 139$ 返済

 $\Delta 914$

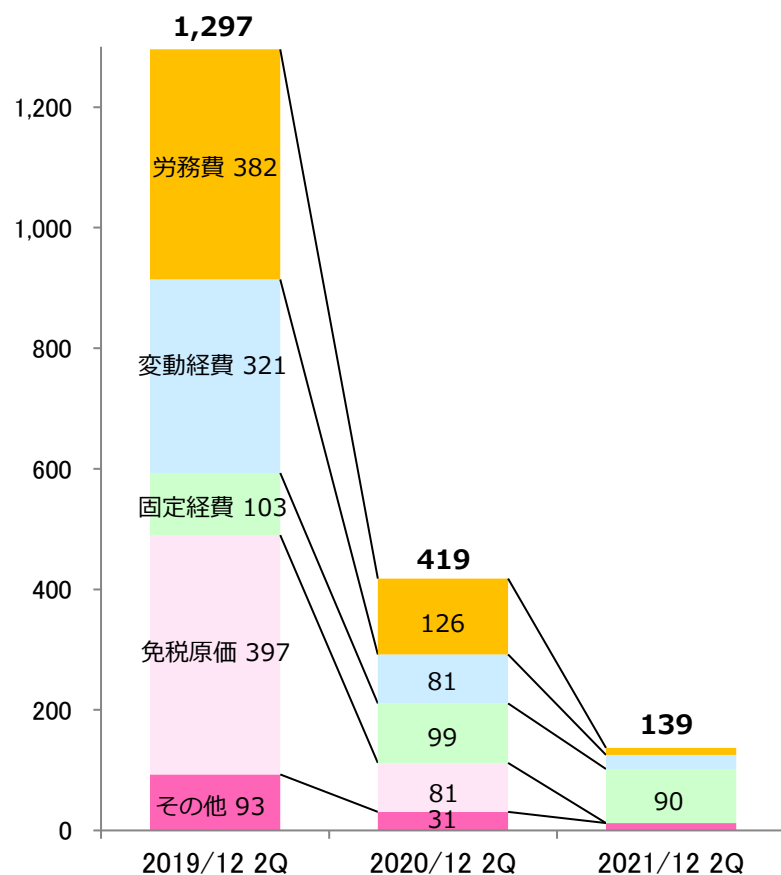
※百万円未満切捨て

2021年12月期2Q コスト削減

構造改革によるコスト削減

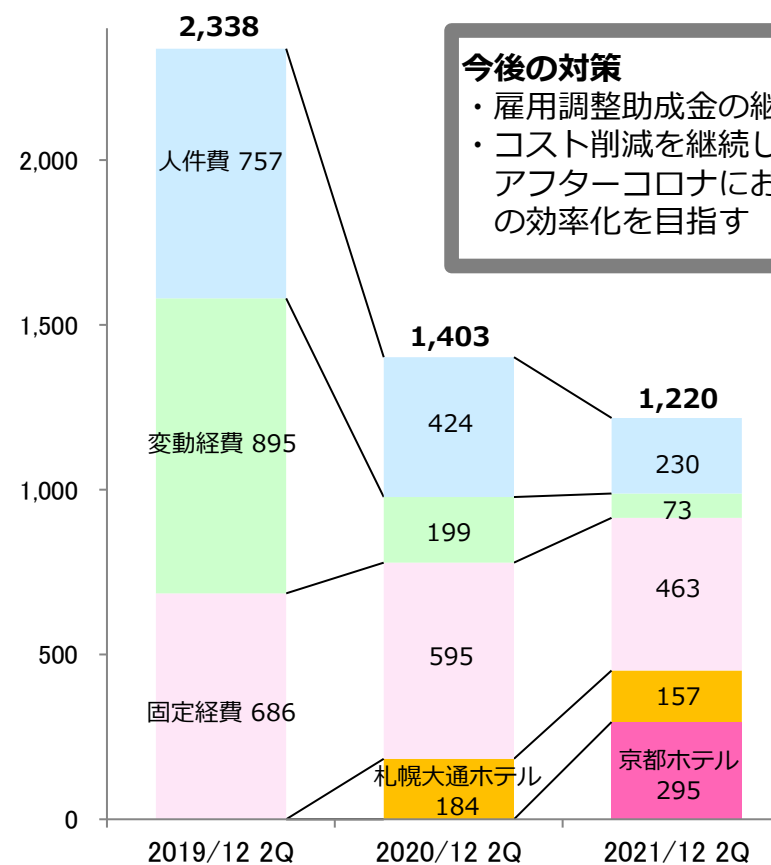
売上原価 3期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）



販売費 3期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）



今後の対策

- ・雇用調整助成金の継続活用
- ・コスト削減を継続し
アフターコロナにおける事業
の効率化を目指す

2021年12月期 業績予想 配当予想について

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業においては、依然として経済活動が停滞している状況が続いております。現時点では収束の見通しは立っておらず、業績予想の算定が困難な状況です。

従いまして2021年12月期の連結業績予想及び配当は未定とさせていただきます、影響額の算定が可能となった時点であらためて開示させていただきます。

2021年12月期 今後の重点施策

営業基盤の強化

経営効率化

営業力強化

旅行事業

- ▶ 全社的休業によるコスト削減
- ▶ 雇用調整助成金の活用

- ▶ インバウンド市場回復を見据えた取組み
 - 政府インバウンド実証事業参画準備
 - 海外有力サイトとのAPI連携推進
- ▶ GoTo再開・国内需要を見据えた取組み
 - 在留外国人向けSNS PR活用
 - 在日外資系企業への営業強化

バス事業

- ▶ 営業拠点の選択と集中
 - 東京・大阪の2拠点へ絞り込み
- ▶ 全社的休業によるコスト削減
- ▶ 雇用調整助成金の活用

- ▶ オリンピック（メディアクルー送迎）需要の獲得
- ▶ クルー送迎便の獲得
- ▶ 国内AGTへの営業強化
- ▶ 国内向け販売強化

ホテル等
施設
運営事業

- ▶ 清掃等ランニングコストの見直し
- ▶ 金沢（110室）開業を延期
- ▶ 雇用調整助成金の活用

- ▶ 東京大森 航空会社乗務員の宿泊誘致強化
- ▶ 京都 新ブランドとしてOTAへ広告宣伝強化
- ▶ Tマークシティホテル札幌 7/16営業再開

財務体質の強化

金融機関、親会社へ継続した支援要請

状況に合わせて増資の検討

ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経理財務部

TEL 03-6629-4755

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>